

スカム対策型  
マンホールポンプ  
機械設備特記仕様書

松阪市

## 第1章 総 則

### 第1節 適 用

本特記仕様書は、『三雲第 1-1 処理分区マンホールポンプ設置工事』に適用するもので、特記仕様書に準拠し、監督員の指示に従って施工しなければならない。また本特記仕様書に、特に定めていない事項については全て監督員と協議し指示を受ける。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先するものとする。

### 第2節 一般事項

1. 請負者は、本工事を施工するにあたり、共通仕様書・特記仕様書並びに関係法規を熟知し、これを遵守しなければならない。
2. 契約締結後、速やかに設計図書及び施工計画書を監督員に提出し監督員の承諾を得なければならない。
3. 工事の施工にあたっては、保安・公衆衛生等に関する諸法規を遵守し現場管理、施工管理に十分な注意を払い、災害の防止に努めて施工すること。
4. 他の関連工事（送水管、付属施設等）と、工事用地及び施工上競合する部分については、工事施工に際してあらかじめ監督員の指示に従って関連工事請負者と綿密な連絡をとり、相互協調しあって施工するものとする。

### 第3節 承認事項

1. 請負者は、契約締結後直ちに設計条件、設計図面により機器を設計し機器の据付図、配管図、電気関係線図、主要機器断面寸法図、主要材料メーカーリストの図書を提出し承認を受けるものとする。
2. 請負者は、書類提出後監督員の承認を得てから製作及び施工するものとする。

### 第4節 適用規格

特記仕様書に記載なき事項については、下記の規格、基準等に準拠するものとする。

- （1）日本産業規格（J I S）
- （2）日本電気工業会標準規格（J E M）
- （3）電気設備技術基準
- （4）内線規定
- （5）労働安全衛生規則
- （6）その他関係法規

### 第5節 その他

請負者は、竣工後技術者を派遣し、監督員及び地元関係者に取扱い要領、維持管理等の指導を行うものとする。

## 第2章 水中ポンプ及び付帯設備

### 第1節 概 要

本設備は、マンホール内に於ける水中ポンプ設備より下水を揚水・圧送するもので、ポンプ槽の水位による自動運転を基本とする。

### 第2節 ポンプ設備

各中継ポンプ仕様

〔マンホールポンプ場〕

|         |                             |                              |
|---------|-----------------------------|------------------------------|
| 1.形 式   | 水中型（汚水汚物用、ノンクログ羽根型）         |                              |
| 2.数 量   | 2 台                         |                              |
| 3.要 領   | （1）口径                       | 6 5 mm                       |
|         | （2）揚水量                      | 0. 4 3 2 m <sup>3</sup> /min |
|         | （3）全揚程                      | 1 0. 5 m                     |
|         | （4）取扱液                      | 生下水                          |
|         | （5）フランジ規格                   | J I S 1 0 K                  |
|         | （6）電動機出力                    | 2. 2 k W                     |
|         | （7）電動機電圧                    | 2 0 0 V（6 0 H z）             |
|         | （8）電動機始動方式                  | 直入                           |
| 4.材 質   | （1）ケーシング                    | F C 2 0 0 又は同等品以上            |
|         | （2）羽根車                      | S C S 1 3                    |
|         | （3）主軸                       | S U S 4 2 0 J 2              |
| 5.塗 装   | 変性エポキシ樹脂塗料内外面 3 回塗り、その他別紙記載 |                              |
| 6.付 属 品 | ポンプ 1 台につき下記のものを取り付ける。      |                              |
|         | （1）着脱装置                     | 一式（S C S 1 3）                |
|         | （2）吊り揚げ用チェーン                | S U S 3 0 4                  |
|         | （3）キャブタイヤケーブル               | 2 0 m                        |
|         | （4）アンカーボルトナット               | S U S 3 0 4                  |
|         | （5）ガイドホルダー                  | S U S 3 0 4                  |
|         | （6）その他必要なもの                 | 一式                           |
| 7.予 備 品 | 銘板                          | 1 枚                          |
| 8.特記事項  | 電動機は水中仕様の構造とする。             |                              |
|         | ベルマウス付（スカム対策型）              |                              |
|         |                             |                              |

### 第3節 ポンプ構造概要

本ポンプは汚水を圧送するもので、水中において連続運転に耐える堅ろうな構造とすること。また、振動や騒音が少なく円滑に運転できると共に特に有害なキャビテーション現象が発生しない構造とすること。

#### 1. 駆動装置

ポンプの電動機は、乾式水中誘導電動機とする。

#### 2. ケーシング

内部圧力及び振動等に対する機械的強度並びに腐蝕・磨耗を考慮した良質の鑄鉄製品(F C 2 0 0)とし、分解、組立が容易なものとする。

#### 3. 羽根車

良質強靱なる製品とし、固形物の混入に対し堅ろうであること。材質はS C S 1 3とする。羽根車は、平衡を十分取ると共に表面は滑らかに仕上げること。

#### 4. 主軸

主軸は電動機軸を延長したもので伝達トルク及び振り、振動に対して十分な強度を有すること。材質は、1 3 C r ステンレス鋼と同等品以上とする。

#### 5. 軸封装置

軸封部には、メカニカルシールを用いて運転中、停止中を問わず異物がモーター内に侵入しないよう中間に軸封油を密封した構造とする。

#### 6. 軸受

回転部重量及び水カスラストは、電動機に内装した軸受けにて支持するものとし、長時間の連続運転に耐える構造とする。

#### 7. 安全装置

過電流及び異常温度上昇によりポンプを停止するモーター保護装置を内蔵すること。

## 第3章 機器据付及び配管工事

### 第1節 機器据付

機器据付においては、基礎コンクリート面に所定位置を水準器等により正確に芯出し調整し、監督員の承認を得た後、基礎ボルトを固定すること。

### 第2節 配管工事

配管取り付けに当っては、操作上便利に、かつ主要機器の機能を十分に発揮できるよう完全に施工するのは勿論、主要機器の取り外し、保守点検に支障なき位置に配管すること。 施工前に、配管位置詳細図を提出し、承認を受けた後施工すること。

### 第3節 配管等の材質

マンホール内等配管材料は、S U S 3 0 4 S c h 2 0 Sとする。なお使用材料の区分は設計図による。

#### 第4節 阻流管設置工事

阻流管は、SUS鋼板を加工して設置する。又、取り付け金具（アンカーボルト、ナット）もSUS製とする。

### 第4章 予施回槽構造概要

#### 第1節 概 要

本設備は流入汚水を一時貯留するものであるが、悪臭発生の原因である浮遊スカム及び残留汚泥を効率よく排出出来る施回流を発生させる構造とする。又、連通スリットにより、停止側ポンプピットのスカム及び堆積物も残さず排出するものとする。尚、既設マンホールに設置出来る2分割組立式とすること。

#### 第2節 予旋回槽仕様

|       |                      |
|-------|----------------------|
| 材 質   | F R P                |
| 付 属 品 | 共通架台（S S 及び S U S 製） |
| 形 式   | 2 ツ割組立式予旋回槽          |
| 寸 法   | 2号人孔用                |

### 第5章 水中ポンプ塗装仕様

#### 第1節 塗装仕様

|         |             |
|---------|-------------|
| 素 地 調 整 | 2種ケレン       |
| 下 地 処 理 | ジンクリッチプライマー |
| 下 塗     | 変性エポキシ樹脂塗料  |
| 中 塗     | 〃           |
| 上 塗     | 〃           |

### 第6章 試験・検査

#### 第1節 材料検査

主要部品について行なうものとする。尚、試験成績表その他監督員の指示する書類を提出し、承認を受けることにより検査に代えることができるものとする。

## 第2節 部品検査

材料検査と同じとする。

## 第3節 工場検査

請負者は工場試験に先立ち、試験要領書を監督員に提出し、承諾を得て工場立会検査を行い、合格したものを納入しなければならない。

## 第4節 現場試運転調整

据付等全て完了後監督員の立会いの上、各機器動作試験、試運転調整を行ない異常なきことを確認するものとする。また、これに要する費用は一切請負者の負担とする。

## 第7章 その他

1. 工場製作に先立って、仕様書、施工計画書、設計計算書、設計図等を作成し、承認を受けること。
2. 工事完了後直ちに完成図書を2部作成し提出すること。
3. 試運転調整時には指導員を派遣し、その指導にあたること。
4. 本工事は、土木工事と競合するので事前に工程及び施工上必要な事項については、手戻り等が生じないよう請負者、発注者及び土木施工業者の3者で協議するものとする。
5. ポンプ、電気設備、主配管等の工場製作状況及び、据付状況等について適宜、写真撮影記録を取ること。また、電気配管で埋設される部分、完成後、明視できない部分等については、特に留意して写真撮影を行うこと。
6. 契約書、設計書及び仕様書に指示されていない事項であっても、設備施工上当然と認められる軽微な事項については、請負者の負担で処理するものとする。

スカム対策型  
マンホールポンプ  
電気設備特記仕様書

松阪市

## 第1章 電気設備

### 第1節 操作盤仕様

形 式：屋外用鋼板製装柱型  
電 源：200V（60Hz）  
板 厚：本体2.3mm、扉2.3mm  
塗 装 色：マンセル No. 5Y7／1

### 第2節 水位制御方式

|                     |    |
|---------------------|----|
| 圧力式投込水位計（付属ケーブル20m） | 1台 |
| フロート式水位計（付属ケーブル20m） | 1ヶ |
| 吊下げワイヤ              | 1式 |

### 第3節 音声通報装置

寸 法：268W×174H×87D程度  
電 源：AC100V～240V  
使 用 回 路：一般加入電話  
デジタル入力：16点  
アナログ入力：4点

### 第4節 構造及び配線

1. 制御盤は防水構造とし、塗装は耐候性塗料を使用すること。
2. アングル架台には化粧板を取り付けること。
3. 内部配線は、原則として1.25m<sup>2</sup>以上の600Vビニル絶縁電線（IV）または、電気機器配線用ビニル電線（KIV）を用いて配線すること。但し、主回路及びこれに準ずるものは製造者の標準とする。
4. 内部配線端には圧着端子を使用すると共に、主回路及びこれに準ずるものはJEM1134の識別を、制御線にはマークバンドを取り付けること。
5. 端子台は、樹脂製のものを使用し、多少の余裕をつけておくこと。



## 第5節 盤取付機器

|                         |     |
|-------------------------|-----|
| 1) 交流電圧計                | 1 個 |
| 2) 交流電流計 (3 倍延長目盛り)     | 2 個 |
| 3) 集合形表示灯               | 1 式 |
| 4) 運転時間積算計              | 2 個 |
| 5) 切換スイッチ               | 2 個 |
| 6) 操作スイッチ               | 2 個 |
| 7) 押しボタンスイッチ            | 2 個 |
| 8) 名称銘板、用途銘板            | 1 式 |
| 9) 配線用遮断器               | 1 式 |
| 10) 漏電遮断器               | 1 式 |
| 11) 電磁接触器               | 1 式 |
| 12) 進相コンデンサー            | 1 式 |
| 13) 過電流継電器              | 1 式 |
| 14) 変流器                 | 1 式 |
| 15) フロートレススイッチ          | 1 式 |
| 16) 交互切換リレー             | 1 式 |
| 17) 補助リレー               | 1 式 |
| 18) 限時継電器               | 1 式 |
| 19) ヒューズ                | 1 式 |
| 20) 盤内照明灯               | 1 台 |
| 21) スペースヒーター (サーモスイッチ共) | 1 台 |
| 22) ドアースイッチ             | 1 個 |
| 23) 自家発電電源端子            | 1 式 |
| 24) 3 極双投カバー付きスイッチ      | 1 台 |
| 25) 端子台及び内部配線           | 1 台 |
| 26) 自動通報装置              | 1 式 |
| 27) その他必要なもの            | 1 式 |

## 第2章 ポンプ運転操作方法等

### 第1節 運転制御方式

#### 1. 概 要

本設備のポンプは、手動運転、自動運転が選択できるものとし、自動運転では「1号自動」「交互運転」「2号自動」のモードが選択できるものとする。

#### 2. 運転モード選択

操作盤の運転モード切換スイッチで「手動」－「自動」が選択できるものとする。

また、自動運転では「1号」－「交互」－「2号」が選択できるものとする。

#### 3. 手動運転

手動運転は任意にポンプの運転停止が行えるものとし、盤操作面の「運転」「停止」スイッチで操作をおこなうものとする。

#### 4. 自動運転

自動運転は、マンホール内水位により自動起動、自動停止する。各運転モードの詳細は以下の通りとする。

- (1) 「1号」及び「2号」モードは、1号ポンプまたは2号ポンプのみ自動運転するもので、選択外のポンプは運転を休止する。
- (2) 「H1WL」まで水位が上昇すると選択されたポンプが運転し、水位がLWLまで低下するとOFFスイッチを感知し、タイマー運転に入り一定時間後停止する。
- (3) 「交互」モードは、1号ポンプ、2号ポンプが交互に自動運転する。自動運転はマンホール内水位が上昇し、運転水位「H1WL」に達すると1台目ポンプが自動起動する。1台目ポンプは「LWL」以下を検知と同時にタイマー運転に切り替わり一定時間後停止する。また、停止水位「LWL」で停止しない場合を考慮し、ポンプ運転中「H1WL」以下を検知後一定時間（最大30分）運転経過した場合は自動停止する。
- (4) HHWLに水位が達した時は警報を出力する。
- (5) 水位計の故障などによる高水位の場合は、バックアップ回路（リレー回路）によるタイマー運転をする。

#### 5. 故障時飛越し運転

ポンプ運転中、故障発生により自動停止した場合、休止中のポンプが自動運転する故障時飛越し運転機能を有する。

但し、本機能は交互運転時のみ有効とする。

#### 6. 水位検出

マンホール内の水位検出は、圧力式投入水位計で検出する。

圧力式投入水位計の故障等のバックアップとして、フロート式水位計を1ヶ使用する。

#### 7. 水位検出点数

水位検出は3点で「LWL」「H1WL」「HHWL」とタイマーによる水位検出とする。

## 第2節 状態表示方式

1. ポンプの運転状態、異常状態等は項目別に表示灯に表示する。
2. 表示灯形状

|              |              |              |                |       |
|--------------|--------------|--------------|----------------|-------|
| 1号ポンプ<br>運 転 | 1号ポンプ<br>停 止 | 1号ポンプ<br>漏 電 | 1号ポンプ<br>過 負 荷 | 水位異常高 |
| 2号ポンプ<br>運 転 | 2号ポンプ<br>停 止 | 2号ポンプ<br>漏 電 | 2号ポンプ<br>過 負 荷 |       |

## 第3節 異常時の処理

ポンプ又はマンホール内水位の異常時には、自動的に当該表示灯が点灯するとともに、パトライトが点灯する。又、自動通報装置にて指定された場所へ通報する。

### 1. マンホール内水位異常上昇

異常高水位まで上昇すると、停止中のポンプは自動起動する。復帰は、水位に連動し自動復帰する。

### 2. ポンプ漏電、又は当該漏電遮断器断

当該（1号又は2号）ポンプの主漏電遮断器がトリップした場合、ポンプは自動停止する。

復帰は、漏電遮断器をリセットした後「表示復帰」ボタンを押す。

### 3. ポンプ過電流

ポンプ運転中、過電流継電器が作動するとポンプは自動停止する。復帰は、過電流リレーをリセットした後「表示復帰」ボタンを押す。

## 第3章 電気配線工事

1. 本工事は、ポンプ運転に必要な動力制御配線工事及び引込柱、二次側以降の配線工事とする。但し、最寄りの電柱からの引込については、請負者が電力会社への申請手続きを行うものとする。又、N T Tへの申請についても請負者が行うものとする。
2. 配線施工に際しては、監督員と充分協議の上、その指示に従うものとする。
3. 本工事施工に伴う一切の手続きは、請負者の負担において行うものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.1

| 明 示 項 目 | 明 示 事 項  | 条 件 及 び 内 容   |
|---------|--|---|
| 工 程 関 係 | <input checked="" type="checkbox"/> 別途工事との工程調整が必要あり<br>(別途工事名：5-7号外污水管渠工事) | <input checked="" type="checkbox"/> 調整項目（ <input type="checkbox"/> 資材等の流用 <input type="checkbox"/> 仮設及び工事用道路等の調整 <input type="checkbox"/> 建設機械等の調整<br><input checked="" type="checkbox"/> 施工順序の調整 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議（ ）   |
|         | <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり                              | <input type="checkbox"/> 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ）<br>施工方法（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 工期  | <input type="checkbox"/>  |
|         | <input type="checkbox"/> 他機関との協議が未完了                                       | <input type="checkbox"/> 協議が必要な機関名（ ） 協議完了見込み時期（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 占用物件との工程調整の必要あり                                   | <input type="checkbox"/> 占用物件名（ <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ））  |
|         | <input checked="" type="checkbox"/> その他（ ）                                 | <input checked="" type="checkbox"/> その他（現場着手前に地元のごみステーションの有無を確認すること。またごみステーションの有無にかかわらず地域住民課と協議をすること。）  |
| 用 地 関 係 | <input type="checkbox"/> 用地補償物件の未処理箇所あり                                    | <input type="checkbox"/> 未処理箇所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> No. ～No. <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input type="checkbox"/> 完了見込み時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月頃 <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）   |
|         | <input type="checkbox"/> 仮設ヤードの有無  | <input type="checkbox"/> 仮設ヤード（ <input type="checkbox"/> 官有地 <input type="checkbox"/> 民有地 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input type="checkbox"/> 仮設ヤード使用期間（ ）<br><input type="checkbox"/> 仮設ヤードからの運搬距離（L＝ km）<br><input type="checkbox"/> 使用条件・復旧方法（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 仮駐車場の借地期間   | <input type="checkbox"/> 対象工事（ <input type="checkbox"/> 下水道工事（ ヶ月） <input type="checkbox"/> 水道工事（2 ヶ月） <input type="checkbox"/> その他（ ヶ月）  |
|         | <input type="checkbox"/> その他（ ）  | <input type="checkbox"/> その他（ ）   |
|         |  |   |
|         |  |   |
| 公害対策関係  | <input checked="" type="checkbox"/> 施工方法の制限あり                              | <input checked="" type="checkbox"/> 制限項目（ <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 振動 <input type="checkbox"/> 水質 <input type="checkbox"/> 粉じん <input checked="" type="checkbox"/> 排出ガス <input type="checkbox"/> その他（ ））<br><input type="checkbox"/> 施工方法等（ <input type="checkbox"/> 指定工法名（ ） <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input type="checkbox"/> 施工時期（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 事業損失防止に関する調査あり                                    | <input type="checkbox"/> 調査項目（ <input type="checkbox"/> 騒音測定 <input type="checkbox"/> 振動測定 <input type="checkbox"/> 水質調査 <input type="checkbox"/> 近接家屋の事前・事後調査 <input type="checkbox"/> 地盤沈下測定<br><input type="checkbox"/> 地下水位等の測定 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input type="checkbox"/> 調査方法（ <input type="checkbox"/> 別途資料 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ） |
|         | <input type="checkbox"/> 上記調査は右欄に示す基準を適用する。                                | <input type="checkbox"/> 調査要件 補償コンサルタント登録されていること（事業損失部門）<br><input type="checkbox"/> 工損調査共通仕様書（三重県）【最新版】部分改訂を行った内容も含む<br><input type="checkbox"/> 中部用対連発行の当該年度「損失補償算定標準書」から採用した算定基準コード番号、建設物価、積算資料、積算ポケット手帳<br>コスト情報等の算定根拠資料を明示し、発行年月等のページを記載すること。<br><input type="checkbox"/> 工事着手に先立ち施工箇所における道路・水路構造物の現況ならびに施工沿線の家屋等の外観の写真撮影を行うこと。<br>なお、これに要する費用は一切受注者の負担とする。  |
|         | <input type="checkbox"/> 環境調査  | <input type="checkbox"/> その他（現場井戸の有無を確認し報告する事。）   |
|         | <input type="checkbox"/> その他（ ）  |   |
|         |  |   |
| 安全対策関係  | <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定あり                           | <input checked="" type="checkbox"/> 交通安全施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><input type="checkbox"/> 指定路線 <input checked="" type="checkbox"/> 指定路線以外  |
|         |  | <input checked="" type="checkbox"/> ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。<br>概算延べ人数：交通誘導警備員 A： 2 人 B： 4 人<br>(注：指定路線以外で交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。)<br>尚、配置人数はA： 1人 B： 1または2人とする。（配置できない場合は変更の対象とする。）   |
|         |  | ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置<br>人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置<br>人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる<br>場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。  |
|         |  | ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。  |
|         |  | <input type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置時間（ ）<br><input type="checkbox"/> 交通誘導警備員の配置期間（ ）<br><input type="checkbox"/> 交通誘導警備員配置の対象工種（ ）  |
|         |  |   |

(注) 上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.2

| 明 示 項 目        | 明 示 事 項   | 条 件 及 び 内 容  |
|----------------|---|--|
| 安全対策関係         | <input checked="" type="checkbox"/> 近接施設等に対する制限       | <input checked="" type="checkbox"/> 既存施設あり<br>・近接公共施設（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ））<br>・近接施設 <input type="checkbox"/> 擁壁（ ） <input checked="" type="checkbox"/> ブロック塀 <input checked="" type="checkbox"/> 家屋 <input type="checkbox"/> その他（ ））<br>・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。<br><input type="checkbox"/> 工法制限あり<br>・制限を受ける工種（ ）<br>・制限内容（ ） |
| 安全対策関係         | <input type="checkbox"/> 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり      | <input type="checkbox"/> 安全防護施設等の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）<br><input type="checkbox"/> 保安要員の配置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）  |
|                | <input checked="" type="checkbox"/> 現場での安全確保（自主施工の原則） | <input checked="" type="checkbox"/> 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。<br><input checked="" type="checkbox"/> 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。  |
|                | <input type="checkbox"/> その他（ ）                       | <input type="checkbox"/> その他（ ）  |
| 工事用道路関係        | <input type="checkbox"/> 一般道路（搬入路）の使用制限あり             | <input type="checkbox"/> 経路及び使用期間の制限内容（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）  |
|                | <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置条件あり                  | <input type="checkbox"/> 使用中及び使用後の措置（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）  |
|                |   | <input type="checkbox"/> 用地及び構造（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）   |
|                |   | <input type="checkbox"/> 安全施設（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）   |
|                | <input type="checkbox"/> その他（ ）                       | <input type="checkbox"/> その他（ ）  |
| 仮設備関係          | <input type="checkbox"/> 仮設備の設置条件あり                   | <input type="checkbox"/> 使用期間及び借地条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）<br><input type="checkbox"/> 転用あり（ 回）<br><input type="checkbox"/> 兼用あり（ ）<br><input type="checkbox"/> その他（ ）   |
|                | <input type="checkbox"/> 水替工（締切排水工）                   | <input type="checkbox"/> 施工条件の指定なし<br><input type="checkbox"/> 施工条件の指定あり<br>① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。<br>概算延べ水替日数： 日<br>② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要がある場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。<br>③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。<br><input type="checkbox"/> その他（ ）                               |
|                | <input type="checkbox"/> 仮設物の構造及び施工方法の指定              | <input type="checkbox"/> 構造及び設計条件（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議 ）<br><input type="checkbox"/> 施工方法（ ）   |
|                | <input type="checkbox"/> その他（ ）                       | <input type="checkbox"/> その他（ ）  |
| 排水工（湧水処理を含む）関係 | <input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の排水に際し、制限あり            | <input type="checkbox"/> 項目及び基準値（ ）  |
|                | <input type="checkbox"/> 水質調査の必要あり                    | <input type="checkbox"/> 調査項目（ ）   |
|                | <input type="checkbox"/> その他（ ）                       | <input type="checkbox"/> その他（ ）  |

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.3

| 明 示 項 目       | 明 示 事 項  | 条 件 及 び 内 容   |
|---------------|--|---|
| 建設発生土・産業廃棄物関係 | <input type="checkbox"/> 建設発生土受入地の指定あり                   | <input type="checkbox"/> 受入地の条件（ <input type="checkbox"/> 別途図面 <input type="checkbox"/> 運搬距離（L＝ km）<br><input type="checkbox"/> 受入料金あり <input type="checkbox"/> 受入料金なし <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））   |
|               | <input checked="" type="checkbox"/> 建設発生土受入地未定           | <input checked="" type="checkbox"/> 受入地未定につき別途協議する。（ <input checked="" type="checkbox"/> 暫定運搬距離L＝ 8 km、 <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 処分費用は原則無償とする。 ））   |
|               | <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処理条件あり         | <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の種類（ <input type="checkbox"/> コン塊 <input checked="" type="checkbox"/> アス塊 <input type="checkbox"/> 木材 <input checked="" type="checkbox"/> 汚泥 <input type="checkbox"/> その他（ ））<br><input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物の処分地（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生処分場（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 最終処分場（ ） <input type="checkbox"/> 別途図書<br><input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）<br><b>【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（ ）に記入のこと。】</b><br><input type="checkbox"/> 処分場の受入条件（ ）<br><input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の排水処理<br>アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」とは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。<br><input checked="" type="checkbox"/> 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。 |
|               | <input type="checkbox"/> その他（ ）                          | <input type="checkbox"/> その他（ ）   |
| 工事支障物件関係      | <input checked="" type="checkbox"/> 工事支障物件あり             | <input type="checkbox"/> 支障物件名（ <input type="checkbox"/> 鉄道 <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> 有線 <input type="checkbox"/> その他（ ））<br><input type="checkbox"/> 移設時期（ <input type="checkbox"/> 令和 年 月 頃 <input type="checkbox"/> 別途協議）<br><input type="checkbox"/> 防護（ ）   |
|               | <input checked="" type="checkbox"/> その他（架空線・地下埋設物）       | <input checked="" type="checkbox"/> その他（以下の架空線、地下埋設物等について、事前に各管理者の立会確認を行うこと、なお、これら以外の埋設物等が予想される場合は監督員と協議を行うこと。）<br><input checked="" type="checkbox"/> 架空線（ <input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> 電話 <input checked="" type="checkbox"/> 通信 <input type="checkbox"/> その他（ ））<br><input type="checkbox"/> 埋設物（ <input type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> 通信 <input type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> ガス <input type="checkbox"/> その他（ ））   |
| 薬液注入関係        | <input type="checkbox"/> 薬液注入工法等の指定あり                    | <input type="checkbox"/> 設計条件（ ） 工法区分（ ） 材料種類（ ） 施工範囲（ ）<br><input type="checkbox"/> 削孔数量（ ） 注入量（数量計算書参照） その他（ ）<br><input type="checkbox"/> 工法関係（ ） 材料関係（ ）  |
|               | <input type="checkbox"/> 提出書類あり                          | <input type="checkbox"/> 工法関係（ ）  |
|               | <input type="checkbox"/> 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認          | <input type="checkbox"/> 材料関係（ ）  |
|               | <input type="checkbox"/> その他（ ）                          | <input type="checkbox"/> その他（ ）   |
|               | <input type="checkbox"/> 施工における注意事項                      | <input type="checkbox"/> その他（ ）<br><input type="checkbox"/> 工事着手前、工事中及び完了後において、地下水、水質の調査を「薬液注入工法による建設工事に関する暫定指針」の規定に基づき観測井戸において行い、影響がでないように十分調査を行うこと。影響がでるようであれば対策を講じること。また、施工計画書に上記における調査方法や時期について明記し適切に管理すること。  |
| 再生材使用関係       | <input checked="" type="checkbox"/> 再生材使用の指定あり           | <input checked="" type="checkbox"/> 再生材の種類（ <input checked="" type="checkbox"/> 再生Asコン <input type="checkbox"/> 再生路盤材 <input checked="" type="checkbox"/> 再生クラッシャーラン <input type="checkbox"/> 道路用盛土材 <input type="checkbox"/> 再生コン砂 ）<br><input checked="" type="checkbox"/> 再生材が使用出来ない場合の措置（ <input type="checkbox"/> 新材に変更 <input type="checkbox"/> その他（ ） <input checked="" type="checkbox"/> 別途協議 ）   |
|               | <input type="checkbox"/> 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）       | <input type="checkbox"/> 再生コンクリート砂（1購入先当たり1検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）   |
|               | <input type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品の使用について | <input type="checkbox"/> 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議。<br>（認定製品の品名： <input type="checkbox"/> 盛土材 <input type="checkbox"/> 埋戻し材 <input type="checkbox"/> サンドクッション材 <input type="checkbox"/> 上層路盤材 <input type="checkbox"/> コンクリート二次製品<br><input type="checkbox"/> グレーチング <input type="checkbox"/> その他（ ））<br><input type="checkbox"/> 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。<br>（認定製品の品名： 間伐材製工事用バリケード・看板・標示板 ）  |
|               | <input type="checkbox"/> その他（ ）                          | <input type="checkbox"/> その他（ ）   |

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.4

| 明 示 項 目 | 明 示 事 項   | 条 件 及 び 内 容  |
|---------|---|--|
| そ の 他   | <input type="checkbox"/> 工所用機材の保管及び仮置きが必要あり           | <input type="checkbox"/> 保管場所（ ） 期間（ ） その他（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 現場発生品あり                      | <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 保管場所（ ） その他（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 支給品あり                        | <input type="checkbox"/> 品名（ ） 数量（ ） 引渡場所（ ）   |
|         |   | 時期（令和 年 月 日） その他（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 盛土材等工事間流用あり                  | <input type="checkbox"/> 運搬方法（ <input type="checkbox"/> 受注者で運搬 <input type="checkbox"/> 受注者以外で運搬 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））  |
|         |   | <input type="checkbox"/> 引渡場所（ <input type="checkbox"/> 別添図等 <input type="checkbox"/> 別途協議 <input type="checkbox"/> その他（ ））  |
|         |   | 数量（ ） 運搬距離（L＝ km）  |
|         | <input type="checkbox"/> 現場環境改善費適用工事                  | <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（率分）（ ）  |
|         |   | <input type="checkbox"/> 現場環境改善の内容（積上）（ ）  |
|         | <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 地元調整 ）       | <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 本工事及び関連工事に伴う地元周知等を実施すること ）  |
|         | <input type="checkbox"/> その他（ 大型土のう袋について）             | <input type="checkbox"/> その他（大型土のう袋は用途を土木用としている製品を使用すること。耐候性大型土のう袋は「耐候性大型土のう積層工法」設計施工マニュアル（一般財団法人 土木研究センター）に準拠した製品を使用すること。）  |
|         | <input type="checkbox"/> その他（ 油漏れ対策について）              | <input type="checkbox"/> 河川内においては、原則、重機及び発電機等へ給油作業を行わないこと。また、給油作業を行う場合は、ブルーシート敷設等、地面への油漏れ防止措置を行い、監督員の承認を受けること。なお、吸着マットを常設すること。   |
|         | <input checked="" type="checkbox"/> その他（ 品質管理試験費について） | <input checked="" type="checkbox"/> その他（三重県公共工事共通仕様書のなかで必須となっている品質管理項目及び試験頻度の費用については、技術管理費に率計上されているが、これ以外又はこれ以上に実施するときの追加分の費用は受注者の負担とする。）  |
|         | <input type="checkbox"/> 路面復旧の指定あり                    | <input type="checkbox"/> 舗装道路の路面復旧は、当日仮舗装を施工すること <input type="checkbox"/> 協議箇所あり <input type="checkbox"/> その他（ ） <input type="checkbox"/> 別途協議（ ）  |
|         | <input type="checkbox"/> 前払い金の請求について                  | <input type="checkbox"/> 本工事において、前払金の請求を行う場合は、以降にできるものとする。   |
|         | <input type="checkbox"/> 鋼材スクラップ費について                 | <input type="checkbox"/> 鋼材スクラップ費については、変更設計時に精算するため当初設計においては計上していません。  |
| 適 用 条 件 | <input type="checkbox"/> 管路埋設部の液状化対策について              | <input type="checkbox"/> 三重県通達「下水道工事における埋戻部の液状化対策（案）」に基づき現地の品質管理を行うこと。   |
|         | <input type="checkbox"/> 委託業務の試掘箇所について                | <input type="checkbox"/> 委託業務に関する試掘箇所平面図の ○○町 の 箇所については、日程を工事担当者と事前に調整を行い実施すること。   |
|         | <input type="checkbox"/> 公共汚水ます設置及び承諾書の配布回収について       | <input type="checkbox"/> 「松阪市公共汚水ます設置基準」に基づき、地権者又は権利者と現地立会を行い公共汚水ます設置場所を決定し、署名された公共汚水ます設置承諾書の回収及び現地立会写真を提出すること。また、宅内排水設備工事は地権者負担となるため適切な位置に設置すること。   |
|         |   |  |
|         | <input checked="" type="checkbox"/> 適用条件              | <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書（令和2年8月版）を適用（部分改正を行った内容も含む（最新改正：令和 年 月 日））   |
|         |   | <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書 第1編 1章 1-1-3 2. 設計図書の照査 に基づく照査を実施すること。<br>また、照査の実施において契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。   |
|         |   | <input checked="" type="checkbox"/> 「土木構造物設計マニュアル（案） 編」を適用   |
|         |   | <input type="checkbox"/> 契約後のVE提案に関する特記仕様書 平成 年 月 日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）   |
|         |   | <input type="checkbox"/> 「受発注者間の協議における回答予定日を明確にする取組」試行対象工事に係る特記仕様書 平成28年7月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）  |
|         |   | <input type="checkbox"/> 「工事監理連絡会」実施対象工事に係る特記仕様書 平成30年7月1日を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）<br>※設計図書の照査完了後、実施について監督員と協議すること。   |
|         |   | <input type="checkbox"/> 支援技術者<br>1. 本工事は現場における現場技術業務を〔例示－（公財）三重県建設技術センター〕に委託しているので、その支援技術者が監督員に代わって施工<br>体制点検、現場で立会、観察又は検測を行う際は、その業務に協力しなければならない。また、書類（施工体制台帳、計画書、報告書、データ、図<br>面等）の審査に関し説明を求められた場合は、説明に応じなければならない。ただし、支援技術者は、工事請負契約書第9条に規定する監督員で<br>は<br>なく、指示、承諾、協議、検査の適否の判定等を行う権限は有しないものである。<br>2. 監督員から受注者に対する指示又は通知等を支援技術者を通じて行う場合には、監督員から直接、指示又は通知があったものとみなす。<br>3. 監督員の指示により受注者が監督員に対して行う報告又は通知は、支援技術者を通じて行うことができる。<br>4. 本工事を担当する支援技術者の氏名は右記の通りである。 支援技術者： |
|         |   |  |
|         |   |  |
|         |   |  |
|         |   |  |
|         |   |  |
|         |   |  |

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.5

| 明 示 項 目  | 明 示 事 項  | 条 件 及 び 内 容   |
|--|--|---|
| 適 用 条 件  | <input checked="" type="checkbox"/> 適用条件   | <input checked="" type="checkbox"/> 設計変更（工事一時中止）を行う際には、三重県工事一時中止に係るガイドライン（三重県県土整備部 平成29年7月）を参考とする。（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照）<br><input checked="" type="checkbox"/> 設計変更を行う際に変更対象となるかどうかについて受注者・発注者の共通の目安を示す「設計変更に伴う契約変更のガイドライン」（令和3年4月1日）を参考とする。（松阪市HP「入札の広場（工事）」を参照）<br><br><input type="checkbox"/> 電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照 ）<br><input type="checkbox"/> デジタル工事写真の黒板情報電子化に係る特記仕様書を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照 ）<br><input type="checkbox"/> ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用（三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照 ）<br><input type="checkbox"/> 下水道標準構造図（松阪市下水道建設課）<br><input type="checkbox"/> 松阪市型下水道用マンホール铸铁蓋設置基準書、松阪市型下水道用マンホール铸铁蓋施工基準書<br><input checked="" type="checkbox"/> その他（下水道事業に関する仕様書 ） |
| 監督の区分<br>（共通仕様書<br>第1編第1章<br>1-1-22条第6<br>項に規定する<br>表1-2、表1-3） | <input type="checkbox"/> 一般監督<br>（ただし、低入札価格調査制度の調査対象工事となった場合は、全ての工種を重点監督とする。）<br><input type="checkbox"/> 重点監督   | 重点監督の場合 【注：全ての工種に適用しない場合は、対象工種欄をチェックし、対象工種名を記入すること。】<br><input type="checkbox"/> 全ての工種に適用する。<br><input type="checkbox"/> 対象工種（ ）<br>※これ以外は、一般監督とする。   |
| 入札・契約方式  | <input type="checkbox"/> 入札時V E方式<br><input type="checkbox"/> 契約後V E方式<br><input type="checkbox"/> 設計・施工一括発注方式<br><input type="checkbox"/> プロポーザル方式<br><input type="checkbox"/> 総合評価方式 | <input type="checkbox"/> 契約前のV E提案に基づき施工しなければならない。<br><input type="checkbox"/> 契約後にV E提案を受け付ける。<br><input type="checkbox"/> 細部設計の承認を受けなければならない。<br><br><input type="checkbox"/> 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の1割を減点します。  |
| 電 子 納 品  | <input checked="" type="checkbox"/> 工事完成図書（工事写真含む）<br><input type="checkbox"/> 電子納品対象外   | <input checked="" type="checkbox"/> 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。<br>電子媒体の提出部数は、（ <input checked="" type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> （ ）部）とする。紙ベース A1 1部<br><input type="checkbox"/> 三重県C A L S電子納品運用マニュアル（令和元年7月改訂）を適用<br><input checked="" type="checkbox"/> 松阪市デジタル写真管理試行基準（平成21年5月改訂）を適用   |
| 産業廃棄物税   | <input checked="" type="checkbox"/> 産業廃棄物税   | <input checked="" type="checkbox"/> 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。  |
| 工事カルテ作成・登録   | <input checked="" type="checkbox"/> 工事カルテ作成・登録   | <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、工事カルテ作成・登録を行うこと。   |
| 建設副産物情報交換システム  | <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物情報交換システム  | <input checked="" type="checkbox"/> 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システム（副産物システム、発生土システム）にデータを入力すること。   |
| 下請関係<br>下請企業<br>次数制限   | <input checked="" type="checkbox"/> 下請企業の次数制限  | <input checked="" type="checkbox"/> 本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。<br>上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。   |

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
 明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
 別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月



特記仕様書（施工条件明示一覧表）

No.6

| 明 示 項 目               | 明 示 事 項   | 条 件 及 び 内 容  |
|-----------------------|---|--|
| 市内企業<br>優先使用          | <input checked="" type="checkbox"/> 市内企業の優先使用                         | <input checked="" type="checkbox"/> 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の請負人を含む）を松阪市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するよう努めること。   |
| 市内産製品<br>優 先 使 用      | <input checked="" type="checkbox"/> 建設資材の市内産製品優先使用                    | <input checked="" type="checkbox"/> 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材の優先使用するよう努めること。<br><input checked="" type="checkbox"/> 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力市内の取り扱い業者から購入するよう努めること。   |
| 不当介入を<br>受けた場合の<br>措置 | <input checked="" type="checkbox"/> 不当介入を受けた場合の措置                     | <input checked="" type="checkbox"/> 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について<br>(1) 受注者は暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。<br>(2) (1)により所轄の警察署に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。<br>(3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。 |
| 工事実態調査                | <input type="checkbox"/> 工事実態調査                                       | <input type="checkbox"/> 三重県低入札価格調査実施要領第3条で定める調査基準に満たない額で契約し、発注者より工事実態調査の指示があった場合又は、同実施要領で定める重点調査を経て契約した場合は、工事実態調査に協力すること。   |
| 社会保険等未加入<br>対策        | <input checked="" type="checkbox"/> 社会保険等未加入対策<br>（健康保険、厚生年金保険及び雇用保険） | <input checked="" type="checkbox"/> 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。<br>受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に参加しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。  |
| 週休2日制工事               | <input type="checkbox"/> 週休2日制工事の実施について                               | <input type="checkbox"/> 週休2日制工事にあたっては、月2回以上の土曜日及び日曜日を休工とすることを原則とし、別添の特記仕様書の内容を遵守すること。<br><input type="checkbox"/> 設計金額5000万円を超える工事において受注者が週休2日制工事を希望する場合は、監督員と協議を行い承諾がされた場合に、受注者希望型の週休2日制工事の適用ができるものとする。その場合において、週休2日制工事を適用したことの理由で工期延期はできないものとする。  |

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。  
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。  
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

松阪市

令和5年4月